

6月15日/16日の予定

化学・生命系学科説明会 (理工学部講義棟A107)

1. 化学・生命系学科説明会

吉武学科長が、化学生命系学科の全体概要について紹介いたします。

	15日(土)	16日(日)
説明会1回目	12:00 ~ 12:30	10:00 ~ 10:30
説明会2回目	13:45 ~ 14:15	11:45 ~ 12:15
説明会3回目	15:30 ~ 16:00	13:30 ~ 14:00

3回とも同じ内容になります。

2. 模擬講義

15日 12:40 ~ 13:30

16日 10:40 ~ 11:30

化学EPの藪内教授が『脱化石燃料へ向けた新しいエネルギー社会』の題目で講義を行います。

3. 学生による大学生活及び研究紹介

15日 14:25 ~ 15:15

16日 12:25 ~ 13:15

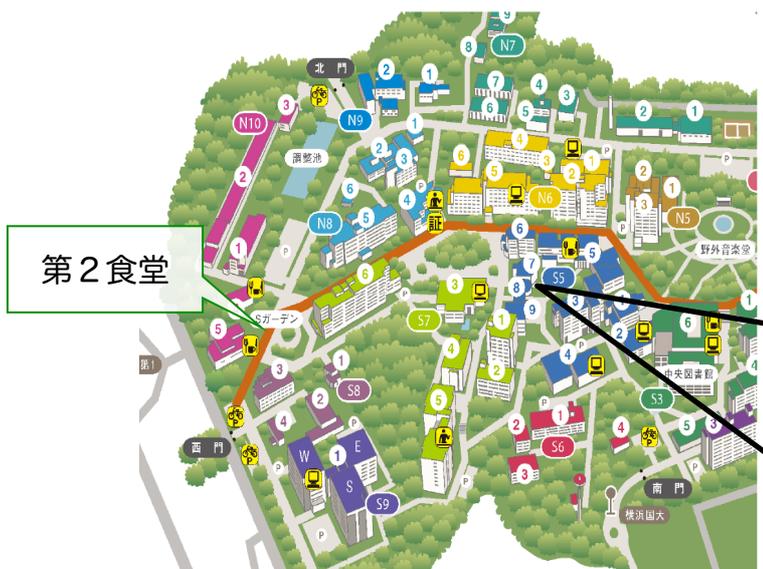
各EPの学生代表者が、研究や大学生活について紹介します。
研究室選び、研究、教職、サークル、大学院進学、バイト・・・など

4. 個別相談会

15日 16:10 ~ 17:00

16日 14:10 ~ 15:00

各EPの入試委員、在学生が個別に質問にお答えします。
入試、キャンパスライフ、進学、就職・・・など



化学生命系学科の詳細は、ホームページにアクセス

<http://www.chem-bio.ynu.ac.jp/>

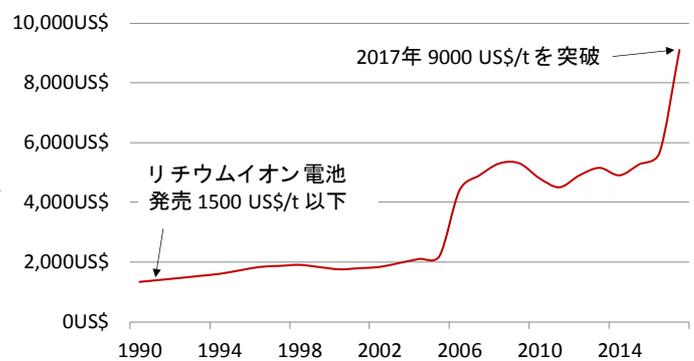
模 擬 講 義

『脱化石燃料へ向けた新しいエネルギー社会』

藪内 直明 教授



産業革命以降、社会を支えるエネルギーの主役は化石燃料でした。しかし、世界中で化石燃料の使用量の増加を一因とした環境問題が深刻な問題として顕在化し、今、世界中で化石燃料から電気エネルギーへのシフトが急速に進んでいます。その代表といえるのが、リチウムイオン蓄電池を搭載した電気自動車になります。世界初の市販電気自動車が2010年に日本で発売され、2018年にはなんと、前年度比64%増となる200万台以上の電気自動車が販売されました。しかし、その結果、電気自動車には欠かせないリチウム資源の価格高騰が世界中で進み、さらに、このペースで電気自動車の市場が拡大すると、電池に利用しているコバルト・ニッケル資源が不足するとされています。研究室では、上述したリチウム、コバルト、ニッケルといった元素を必要としない、ナトリウムを使った高性能蓄電池の開発を進めています。このような電池と自然エネルギーを活用することで実現する、化石燃料を必要としない新しいエネルギー社会の可能性について紹介したいと思います。



炭酸リチウムの価格の推移



研究室で開発中のリチウム、コバルト、ニッケルを必要としないナトリウムイオン電池の写真